

審査結果報告（全体総括）2020.3.23-24

埼玉医科大学国際医療センターは、東京都に隣接する埼玉県西部に位置し、地域医療への貢献とともに、地域における重要な医学教育機関としての役割を担っている。病院は「患者中心の医療」を理念に掲げ、日本人・外国人を問わず同等に医療サービスを提供することを基本方針とし、外国人患者の受入れ体制整備に取り組んでいる。外国人の背景（国籍、訪日・在留の別、支払い能力など）に関係なく、救急患者はもとより、予約のない新患患者であっても一切断らず、質の高い医療を提供されていることは、院長のリーダーシップと、それを推進する関係者の努力のたまものと思われる。

JMIP の調査項目の多くは、外国人患者の医療安全に直結するものが多く、その内容とともに活用法が大切である。今回、更新審査ということもあり、基本的な体制や環境、関係書類の整備などは初回調査時よりもさらに向上しているが、その活用についてはさらなる見直しが必要である。実際に利用しやすい内容への改編と運用方法の検討により、より多くの外国人に対して有効な、また多くの職員が利用できる体制がつけられることを期待したい。